

質問等	回答
1 ロシアのウクライナ侵攻を一つの契機に国際的な分断が顕在化し、これがNPTのような大枠の意思決定にも影響しているように思います。一方で、保障措置の実施やAPの普遍化、核セキュリティの強化のための各国への支援等、原子力平和利用のためのガバナンスやその強化を継続しなければならないと思います。現下のような状況で、こうした活動への影響が出ているでしょうか、出ているとすると、これをどう克服していくべきでしょうか。	ご指摘の通り、保障措置の実施やAPの普遍化、核セキュリティ強化のための各国への支援等、原子力平和利用のためのガバナンスやその強化を継続することは重要であると考えています。パネリストの方々から発言があったとおり、現時点ではIAEAの取組みや国際社会の協力に関する活動に大きな影響は出ていないため、この活動を着実に継続していくことが重要と考えます。
2 今回のロシアの原発攻撃に関して、日本の原子力規制委員会(NRA)は何か基準で見直すことはあるのか。	IAEA 直井センター長の発表では、核セキュリティの質を高める議論は考えられるが、今回のようなウクライナの事態によってNRAが規制に関する基準を引き上げることはないだろうと述べました。現時点で、NRAの基準の見直しの動きはないと理解しています。
3 チェルノブイリ原発事故でのモニタリングで今回の状況に寄与することはあるのか。	EC-JRC Goulart部長の発表のとおり、ECでは放射線モニタリングのデータ交換プラットフォームである(EURDEP)を運用しており、各国や事業者の団体とも協力が行われています。これらの活動は、過去の原発事故の経験が反映されたものと考えています。
4 Can I have more explanation/references/information on defining specific war-scenario hazards affecting NPP?(NPP に影響を与える特定の戦争シナリオの危険を定義することについて、より多くの説明/参照/情報を得ることができますか?)	EC-JRC Goulart部長の発表のとおり、西欧原子力規制者協会(WENRA)や欧州放射線防護機関管理者連合(HERCA)といった団体とも協力し、様々なシナリオで原子力発電所事故に備えており、その中では、核兵器による攻撃シナリオにも対応できるように要請されているとのことでした。
5 CBRNE防止に関する国際的な枠組みや体制はあるのか。	CBRNEテロの防止については、UNODC(国連薬物犯罪事務所)が国際テロの問題に包括的に取り組んでいます。また、それぞれについて、個別に対応がとられています。例えば、放射性物質と核物質(RN)については核セキュリティの枠組みがあり、IAEAをはじめ各国が協力してこれらのテロを防止する体制がとられています。
6 May I get more explanation why this Russo-Ukraine war may not likely increase the likelihood of proliferation?(このロシアとウクライナの戦争が核拡散の可能性を高めない理由をさらに説明していただけませんか?)	本フォーラムのプレゼンテーションでVCDNP Sokova事務局長は、「今回の事態が核の拡散につながるとは考えていない。核保有は、各国の安全保障環境によるものである。」と述べられていました。
7 核軍縮・核不拡散に対してかなり悲観的ですが、打開策は見当たらないのでしょうか?	現在の国際情勢は非常に厳しい状況にあり、これを打開していくためには、今後の国際社会の取り組みがとて重要であると考えています。佐野委員は、このために日本のリーダーシップも重要になると発言されました。
8 今後の対応の国連活用は良い案とは思いますが、ロシアが拒否権を発動するので、効果は限定的ではないでしょうか?	佐野委員の発表では、「安保理が拒否権により機能不全に陥っている」際には、国連総会での『『平和のための結集決議』に基づいて国連緊急軍(UNEF)を派遣した例』もあり、「国連事務総長の積極的な介入努力(good offices)が求められる」としています。
9 Will there be different measures, especially lessons from Russo-Ukraine war, in constructing/restarting the future nuclear power plants in Japan?(将来、日本で原子力発電所を建設/再稼働する際に、ロシアとウクライナの戦争からの教訓を生かしての、特別な教訓はあるのでしょうか?)	発電事業者が従来からの安全・核セキュリティ対策を大きく変える必要があるとは考えられませんが、他国軍による原子力発電所の攻撃への対処は国家安全保障の重要な要素であり、今後、この点について、各国において政府との十分な協議が必要となると考えています。
10 What will be different approach from the younger generation to encourage disarmament, compared to existing international norms?(既存の国際規範と比較して、若い世代の軍縮を促進するためのアプローチはどのような相違があるのでしょうか?)	今村氏は、「学生からの今次国際フォーラムへの提言をまとめようと試みましたが、果たして、学生計8名各々が」、「捉えどころのない『モヤモヤとした状態』に直面し、有益と思われる解決策を見いだすことができず、したがって、8名の総意としての明確な提言をまとめることはできなかった。」としており、これが若い世代の核に対する一つの認識の現れではないかと考えています。

この他にもご質問頂きましたが、ご質問の内容が本国際フォーラムの議論の趣旨と関連しない内容でしたので、割愛させていただきます